

# 令和7年度 自己点検・評価シート

## 基準2 内部質保証

	評価項目	評価の視点	担当責任者	担当部局	自己評価委員会 評価結果
①	内部質保証のための方針を適切に設定していること。また、教育の充実と学習成果の向上を図るために、内部質保証システムを整備し、適切に機能させていること。	・内部質保証のための全学的な方針において、基本的な考え方、体制(全学内部質保証推進組織をはじめとした諸組織の位置づけ、役割や責任)や手続を明らかにしているか。	学長	教育・研究企画課	○
		・教育の企画・設計とその実施、自己点検・評価及び改善活動に関して、全学的な調整や支援を行っているか。 ※ 具体的な例 ・3つの方針の策定の調整・支援。 ・体系的・組織的な教育課程の編成に向けた調整・支援。 ・効果的な教育方法の開発とその運用のための調整・支援。 ・学習成果の可視化に向けた調整・支援。 ・自己点検・評価の実施やその結果の活用に向けた調整・支援。		教育・研究企画課	組織改編に伴い、体制の再整備、改革に向けたロードマップ、具体的施策の策定が急務である
		・大学全体規模や学部、研究科その他の組織(教職課程を実施する全学的組織を含む)における自己点検・評価をそれぞれ定期的実施し、その結果を活用して改善・向上に取り組んでいるか。		教育・研究企画課 各学部・研究科 (共通教育除く)	
		・学部、研究科その他の組織における自己点検・評価の客観性、妥当性を高めるために、学生の意見や外部の視点を取り入れるなどの工夫をしているか。		教育・研究企画課 各学部・研究科 (共通教育除く)	○
		・行政機関、認証評価機関等から指摘事項があった場合、それに適切に対応しているか。		経営企画課	○
②	大学の諸活動の状況等を適切に公表し、社会に対する説明責任を果たしていること。	・教育研究活動、自己点検・評価結果、財務、その他の諸活動の状況等を適切に公表し、社会に対する説明責任を果たしているか。	学長	広報室	○
		・教育研究活動の情報として、学生の学習実態、学習上の成果に関わる情報を社会に分かりやすく公表しているか。		広報室 教育・研究企画課	○
③	内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価を行い、改善・向上に向けた取り組みを行っていること。	・内部質保証システムの整備や機能の状況を定期的に点検・評価し、その結果に基づき、教育の質を保証する仕組みとしてより有効に機能できるよう改善・向上に取り組んでいるか。	学長	監査室 教育・研究企画課	組織改編に伴い、体制の整備が急務である。